



ホンネ！！

先輩の就職活動体験談

後輩学生へのメッセージ

2019年9月アンケート調査実施



公益財団法人 大分県総合雇用推進協会

*当協会が開催しましたイベントなどに参加していただいた2020年3月卒業予定の学生の皆さんにご協力をお願いしてアンケートを実施しました。

*この冊子は、アンケートの中で「あなたが就職活動を経験して困ったことがありましたら、参考までにお聞かせください。」「来年度に就職活動を経験する後輩に向けて、先輩としてアドバイスがありましたらお聞かせください。」の2つの設問に回答があったものを掲載しています。

*回答していただいた諸先輩の「悩み」「熱い気持ち」「後輩に対する優しさ」を感じてください。

(注) 回答者が記述している文章は、原文のまま掲載しています。

	就職活動で困ったこと	後輩へのアドバイス
女性－短大	就職活動が遅かったため、中々自分に合った就職が見つかることができなく、二次募集を待ったこと。 いつから始めるのがよいか分からなかった。	今からでも動き出して自分に合ったところに就いてほしいです。
女性－専門	特になし。	早く就職活動を始めた方が良い。
女性－短大	筆記試験と面接の対策をするのが大変でした。	特にありません。
女性－大学	大学との日程調節、出費が多い、電話対応、情緒不安定になってしまったこと。	就職活動の準備（自己分析や履歴書等）は早めにしておいた方が良いでしょう。人と比べず、自分のペースでモチベーションを保ち、自分らしきを出せる会社を選ぶことが大事だと思います。
女性－短大	気持ち的なあせりはあったが、今となっては良い経験だと思う。	就職が決まらないのはきっと自分を出せてない＝アピール出来てないからだと思います。 今現在、かなり面接で人柄を見られます。自分みがきも忘れずにがんばって下さい。
男性－専門		説明会の時は沢山質問し、いろんな分野の企業を見てほしい。
女性－大学	何かからとりかかればいいのかわからず、とまどいました。	
女性－短大	合同企業説明会に参加しても、興味のある企業がない。 福岡の方が大規模。	企業説明会の前は、ある程度下調べして参加するといいと思う。
女性－短大	就職したいと思う企業がない。	ないです。
男性－大学		就職中はきっぱりとアルバイトなどを休む、又は辞めるのがオススメ
女性－大学	公務員試験の勉強と両立させながら就職活動をしていたので、他の就活生とは違い大変だった。	インターンシップには積極的に参加し、早い時期から就職活動を始めた方が確実に周りより差をつけることができ、自分自身に余裕ができます。残りの学生生活を楽しむために早くからとりかかりましょう。

	就職活動で困ったこと	後輩へのアドバイス
女性－大学	私はラッキーな事に第 1 志望の企業から早々に内定を頂きましたので、特に困った事はありません。	やはり早めに志望する企業を決めて、インターンシップはもちろん必ずさせて頂き、その企業の説明会等にも出て、人事課の方々と面識をつくる事は大切だと思います。
女性－大学		就職活動をしていると息づまることもあると思います。そんな時、1人でかかえこまず、周りの大人の人達に相談するのが1番です。諦めずに頑張っていれば絶対にいいことがあると思います。 絶対に1つおちたからって諦めないでください！時には妥協も必要ですが、笑… 就職活動をしている時はきつけれど、知らない自分と向き合うすごくいい時間です！終わってしまえばすごく楽しいですよ！！いっぱい企業を見て楽しんで就職活動をしてください！！応援してます！！
女性－大学	Uターン就活の情報収集、就活のやり方がよくわからなかった。 首都圏にいるときに大学もあるので、地方の就活の日程調整が難しかった。	自己分析がとにかく大切だと思った。周りの人の意見もとり入れて最終的には自分で納得する決断をして、納得いくまで大変でも就活をすべきだと思う。
女性－短大		積極的に企業説明会や会社説明会に参加することが大切だと思います。
女性－短大	自分に自信が持てず、エントリーシートの内容や、面接の練習、本番でも声が小さくなったり、はっきりしない中身になってしまった。	何でも良いので、自分が頑張ったと胸を張れる事を、少しずつメモに残しておく、振り返りが容易にできる。
男性－大学	自身が理系であり、周りの人は大学院志望が多かった為、ギャップを感じた。	私自身、しゃべる事が苦手でしたが、面接の練習を何度もすれば、必ず上手にできます。

	就職活動で困ったこと	後輩へのアドバイス
女性－大学	最初、企業研究や業界研究のやり方がよくわからなかった。 興味のある業界もなく、早めにやるべきとだけ言われて焦ってしまった。	とにかく説明会に足を運んで、自分に合う会社を見つけることが大事だと思います。自己分析をしっかりと面接の準備をするのも必要です。
女性－専門	特になし。	資格を持っておくと、その資格を求めている企業には有利。 アルバイトをしていると面接のときに話すことができる内容が増えます。
男性－大学	地元大分で就職活動を行っていましたが、休日、給料の面で納得できる企業が少なかったです。	視野は広く、入りたい企業があるのであれば、インターンに参加した方が有利で難易度が下がる場合がある。
女性－大学	ESに住所を書くが、親の仕事のために官舎に住んでいるので、それを見た面接官が「親は公務員？」と聞いてきたこと。きっちり「それは聞いてはいけない質問です」と言えればよかったができず、大変悔しく嫌な思いをした。	ナビサイトやマスコミ、周りに流されず、自分らしい就活をしてみてください。 いきなり就活をするのではなく、自分が何をしたいのか、何ができるのか、先に考えてみてください。 内定がもらえない＝絶望ではありません。同時に、内定 Get＝就活終わり、でもありません。卒業後、働くなどしても誰か、又は会社に必要とされ続ける活動が大事です。早めに動いて、自分にぴったりの仕事や生き方を探してみましよう！
女性－短大		早い行動がとても大事だと思います。
女性－大学	大学で就活関連のイベントがあった時に、自分が志望するサービス業の企業がほぼなく、情報を集めるのに少し苦労した。	後回しにせず、早めに行動した人の方が確実に第一志望の内定を頂いている人が多いので、迷っている時点でも「とりあえず」で合同説明会に参加することをおすすめします。
男性－大学	1次、2次に進むにつれて期間が短く、交通費が多かった事。	自分の中のものさしで就活をして欲しい。
男性－短大	地元の求人が少ないこと。	何事も早めに！